

第 15 回植物園シンポジウム
ふるさとの植物を守ろう

ナショナルコレクションー 貴重な植物を後世に伝える



公益社団法人日本植物園協会

「ナショナルコレクション—貴重な植物を後世に伝える」

日本植物園協会では、2017年より「野生種、栽培種に関わらず、日本で栽培されている文化財、遺伝子資源として貴重な植物を守り後世に伝えていく」ことを目的としたナショナルコレクション制度をスタートしました。

本制度は、個人や愛好団体など保全基盤の脆弱な植物コレクションであっても申請が可能な、日本で唯一の認定システムです。このため、広く市民の理解を得ることはもちろん、愛好家や団体等の保有するコレクションの状況を明らかにし、ナショナルコレクションへの申請を促すことが急務だと考えられます。

そこで、今年度の植物園シンポジウムでは、日本を代表する園芸植物の産地である新潟県において、植物の多様性やその危機的な状況、イギリスでの保全の取り組みや植物園で保全される植物コレクションを紹介することで、かけがえのないすばらしい日本の植物を守り、後世に伝えるための提案を行います。

日 時 平成 30 年 10 月 7 日（日） 13：00～16：00
会 場 新潟県立植物園研修室（新潟市秋葉区金津 186）
主 催 公益社団法人 日本植物園協会
後 援 新潟県花き振興協議会
新潟県花木振興協議会

本事業は公益財団法人 山口育英奨学会 自然環境保護活動助成事業のご支援をいただき、実施するものです。

次 第

13 : 00 主催者挨拶
日本植物園協会 会長 岩科 司
新潟県立植物園 園長 倉重 祐二

第 1 部 ナショナルコレクションはなぜ必要か？

13 : 10 植物園でランを知る・守る・伝える
国立科学博物館筑波実験植物園 遊川 知久
13 : 40 イギリスにおける植物保全 ナショナルプラントコレクション
安城産業文化公園デンパーク 長澤 亜紀子
14 : 00 植物と植物文化を保全する サクラソウ
さくらそう会 鳥居 恒夫
14 : 40 休憩

第 2 部 全国の植物園のすばらしいコレクション

14 : 50 日本植物園協会ナショナルコレクション認定
「武田薬品京都薬用植物園命名ツバキ品種群」
北里大学薬学部附属薬用植物園 古平 栄一
15 : 10 広島市植物公園の変わり葉ゼラニウムコレクション
広島市植物公園 島田 有紀子
15 : 30 日本を代表する花木産地 新潟の園芸植物
新潟県立植物園 倉重 祐二
15 : 50 質疑応答
16 : 00 終了

植物園でランを知る・守る・伝える

国立科学博物館筑波実験植物園 遊川知久

別紙「生きた植物コレクションのセーフティーネット」植物園と市民で進める
植物多様性保全ニュース. No. 26 参照

イギリスにおける植物保全 ナショナルプラントコレクション

安城産業文化公園デンパーク 長澤亜紀子

イギリスはもともと自生する固有の植物が非常に乏しい国でした。しかし世界中にあった植民地でのプランテーション経営には、有用植物の収集と栽培が不可欠なため、国を挙げて熱帯域での植物探索が盛んに行われました。それは珍奇で美しい植物への興味に発展し、貴族や産業革命で生まれた富裕層の間では園芸植物の栽培や育種が大流行しました。

そうした輝かしい歴史を持つイギリスの園芸植物ですが、時が経つにつれて次第に栽培する人が減少するなど存続の危機が訪れます。そこで1978年、希少植物の保存活動とナショナルコレクションの確立を目指して、NCCPG(現在はプラントヘリテージ)という慈善団体が設立され、保全活動が始まりました。

イギリスにおけるナショナルコレクションとは、イギリスで栽培される野生種や貴重な園芸植物について、個人または組織が明確に決められたテーマの植物を保存、育成、増殖、記録し、将来に残すための取組みです。

今回はイギリスのナショナルコレクションによる保全活動と、コレクションホルダーが保全する植物の一部をご紹介します。

植物と植物文化を保全する サクラソウ

さくらそう会 世話人代表 鳥居恒夫

前代の人たちが美しいとして選抜し、残してくれた園芸植物は文化財である。
和歌などの歴史的文芸を起源とする園芸品種名も文化財と考える。
栽培法や鑑賞法も重要な文化で、保存の対象である。
植物は植物園の地域や特性に応じて、複数の園で収集し交流を行なう。
収集品の展示を行ない。正確な植物品種を公開、普及する。
それぞれの植物の愛好会や収集家と連携して、収集・交換・展示を行なう。
園芸植物が、長く生きて伝えられてきた歴史を深く認識する。
収集家、栽培家は目に見える植物の研究者であると認識する。
種苗の分譲を受ける際には、単なる材料の提供者と考えるのはまちがいの。
提供を受けたからには、立派に育てて維持し、誠意を見せること。
専門的な職員の養成研究と資料の集積
講習会を開催して、新しい愛好者を育成する。

さくらそう会における品種保存・普及活動

桜草は江戸荒川の原野に自生する野草を、江戸人が園芸草花に育成した。
300年の栽培史があり、維新・震災を経て多くの品種の混乱があった。
戦時中の社会の混乱により栽培が不可能となり、絶滅と思われた。
愛好者はたいへんな苦勞をして、少しずつでも残そうと努力した。
1952年に、全国組織の愛好者による「さくらそう会」を設立した。
少しずつ保存された品種を持寄ることで、桜草園芸の復活が始まる。
繁殖した余剰苗を持ち寄り、会員に配布する普及活動が始まる。
展示会を開催して多くの品種と鑑賞方式を見せる。
見学会、講習会を開催して、情報の提供と交流を促す。
会報を発行して情報を提供
混乱していた品種の収集と特性調査を行い、品種と品種名の特定
保存すべき品種の選定と格付け 認定品種を選定し、特性表を作成
認定品種の選定にもとづく正確な品種苗を配布する。
認定品種図譜（カラー）の刊行
新しい実生花の評価 選抜佳品と認定品種の二段階評価
桜草鉢の製作と購入斡旋
江戸時代に創作された桜草花壇の復元製作
多様な栽培法・鑑賞法の研究と普及
植物園との連携 収集協力・展示会・講習会・植替えボランティア
出張による品種同定 各地植物園・展示会・愛好家宅
切花送付による品種同定は、最も効率のよい方法

日本植物園協会ナショナルコレクション認定

「武田薬品京都薬用植物園命名ツバキ品種群」

北里大学薬学部附属薬用植物園 古平栄一

平成30年6月19日に広島市で開催された日本植物園協会第53回大会において、1回目となるナショナルコレクションの認定証授与式が行われた。認定1号であるツバキのコレクションについて紹介する。

「武田薬品京都薬用植物園命名ツバキ品種群」
武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園（京都府）

江戸時代のツバキの園芸化は、ヤブツバキとユキツバキの両種が自生し、幅広い変異が見られる北陸産によるところが大きい。これらは高度成長期に消滅の危機に瀕していたが、申請者によって1956年より調査、収集が行われ、155品種が新品種として命名された。コレクションは、命名された新品種のうち現存する121品種の基準木である。

広島市植物公園の変わり葉ゼラニウムコレクション

広島市植物公園 島田有紀子

広島市植物公園では約560種類のゼラニウムの仲間を保有し、毎年3月から4月に「ゼラニウム展」を開催しています。中でも、葉に赤や黄色の模様が複雑に入って美しい「変わり葉ゼラニウム」は当園でしか見られない品種群であり、必見です。

海外から急激に西洋植物が導入された明治時代。ゼラニウムも幕末にオランダより渡来し、明治後期から普及しました。変わり葉ゼラニウムは明治後期から輸入され、大正初期から昭和初期にかけて大流行しました。投機の対象になったほどです。

西洋文化の一端として舶来のイメージのまま広められたバラやダリアなどとは異なり、変わり葉ゼラニウムは海外から導入された後、日本名が付けられたり、飾り鉢に植えられて観賞されたりするなど、日本人の価値観と美意識でもって独自のアレンジが加えられ、オリジナル化していった伝統園芸植物です。

しかしながら、戦後は衰退の一途をたどり、現在は消失の危機に瀕しています。当園では約40品種を栽培して展示するほか、日本における変わり葉ゼラニウムの栽培史を調べ、品種とともにそれにまつわる文化や歴史も後世に伝える活動をしています。

今回は、日本人の感性が垣間見られる品種の美しさと、かつて大ブームを巻き起こした歴史を紹介します。

日本を代表する花木産地 新潟の園芸植物

新潟県立植物園 倉重祐二

1. 新潟県の花弁園芸 産地の特徴

- ・全国第2位の鉢物花木生産県。主力はアザレア。
- ・新潟市秋葉区、南区の信濃川沿いに150軒の花生産農家
- ・アザレア、シャクナゲ、ボケ等は日本一の生産量
- ・景気の低迷に伴う生産額の減少

2. 江戸時代の花弁園芸

- ・江戸時代中期以降に江戸や大坂を中心に花弁園芸が流行
- ・新潟においても1700年代には園芸植物が多数栽培される
- ・新津では水害の多い稲作地域で、換金植物として園芸植物の栽培がはじまる
- ・新潟市秋葉区、三条市保内で近代の花弁生産の基礎が築かれる

3. 新潟を代表する花木と保全の必要性

- ・ヤブコウジ
現在の価格で1000万円以上の金額で取引され、投機の対象となった。
島根とともに多くの品種が保存される。
- ・カラタチバナ
島根とともに日本有数の品種数が保存される。
- ・アザレア
日本最大の産地。戦前から県内で数多くの品種が作出された。
- ・ボケ
日本最大の生産地。日本ボケ協会によって200品種以上が保存される。
新品種の育成も盛ん。

別添資料：にいがた花語り（新潟日報）



**National
Collection**

情報提供のお願い

日本植物園協会加盟園以外の団体・個人で貴重なコレクションなどを保有されている等の情報がございましたら、日本植物園協会事務局内ナショナルコレクション委員会事務局までお知らせください

(公社) 日本植物園協会 事務局内 ナショナルコレクション委員会

〒114-0014 東京都北区田端 1-15-11 ティーハイムアサカ 201

TEL : 03-5685-1431 FAX : 03-5685-1453

E-mail: jabg-nc@syokubutsuen-kyokai.jp



ナショナルコレクション HP